

5. 令和 5(2023)年度 大阪高体連柔道専門部運営の重要事項について

委員長 梅垣 穂高

令和 5(2023)年度大阪高体連柔道部年間行事運営は、大会毎に各学校に対して参加依頼を送りません。年度始めに、各学校に配布するこの部報・大阪高体連HP (<http://highschool.osakajudo.info>)によってすべて運営しますので、部報・HP（ホームページ）の内容を熟読の上、大会要項に従って参加申込みをして下さい。尚、従来の書面での申し込みに加え、インターネットでの申し込みも並行して行いますので、ご協力お願いいたします。

本年度、高体連主催の大会については、全日制は全国大会予選・大阪総体・新人大会（全国選手権大会予選兼近畿大会予選）の3大会、定時制・通信制課程は全国定通大会予選・定通総体の2大会です。今まで各大会に参加する意志を持ちながら、申込み遅れや抽選会不参加などの理由で参加できなかった学校があります。下記の重要事項について十分留意の上、大会に参加して下さい。

- ① 年間行事の参加依頼は部報内に年間行事として掲載してあるので、「**部報**」（1部）を必ず、**学校長に提出**しておくこと。
- ② 大会は部報内の要項に則って実施する。（大会毎の要項は送付しない。）
- ③ 申込日時を厳守すること。（申込締切日の前2週間を、申し込み期間の目安とする）
申込書（切り取り線の箇所で必ず切り取ること）の郵送は、必ず、書留または簡易書留（通郵便での申込みは不可）とし、「〇〇大会申込書在中 合計〇〇枚」と明記すること。尚、持参の場合は封書で提出すること。
インターネットでの申し込みに関して、不明な点は下記まで問い合わせをすること。
大阪府立鳳高等学校 072-271-5151 橋本 健 先生
- ④ 開会式等に遅刻したチーム又は選手は、適格であっても大会出場を認めない。
- ⑤ 引率責任者（顧問）は必ず当該校の職員であること。
- ⑥ 当該校の顧問が監督になるのが望ましいが、当該校の校長が認める指導者を監督（コーチも含む）とすることが出来る。外部指導員を起用する時は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入することを条件とする。
- ⑦ 引率責任者（顧問）のいない学校は大会参加を認めない（統廃合校の合併チームにおいても各校の付添いが必要）。顧問の付添いができない場合は、その学校の職員が付添うこと。また、受付の際も顧問が申し出る。
- ⑧ 顧問又は監督教員を偽って試合を行なった場合、その事が明らかとなった時点で当該試合を負けとし、事後、1年間出場を停止する。
- ⑨ 監督の行為・言動について
試合が進行している最中に指示を出すことや立ち上がること、対戦相手や自身の選手を侮辱する言動に対しては、罰則が与えられる。
- ⑩ スポーツマンシップに反したり、高校生としての名誉を汚す言動のあったチームに対しては、常任委員会の議を経て、相当の期間出場を停止することがある。
- ⑪ 大阪府柔道連盟昇段試合の公認点となる大会は下記のとおり。
イ. 第72回全国大会大阪府予選会（団体試合）
ロ. 第78回大阪高等学校総合体育大会柔道の部（団体試合）
ハ. 第73回大阪高等学校定時制・通信制課程総合体育大会柔道の部（団体試合）

二. 第73回大阪高等学校柔道新人大会（女子団体試合）

※ 公認点は、

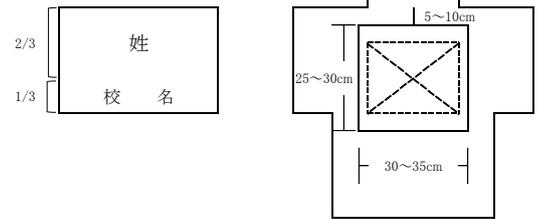
- i) 有段者同士の試合については、府柔連「審議内規」(49頁～50頁参照)に従い、発行する。
- ii) 段外者については、以前に昇段試合以外での得点がない場合にのみ、上記大会での対有段者の勝ちに対して、昇段に必要な点数のうち1点に限り、発行する。(残りの昇段に必要な得点は、必ず、昇段試合で取ること。)

また、公認点の再発行は行わない。

- ⑫ 外国人留学生の出場資格・制限等については全国大会に準ずる。(問い合わせがある場合は委員長へ)
- ⑬ 大会申込書に医師の所見は必要ないが、健康管理については十分留意すること。
- ⑭ 「脳しんとう」に関する扱いについて
 - イ. 大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ロ. 大会中に脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。また、当該選手の指導者は大会本部(委員長)に報告すること。尚、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
二. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
- ⑮ 皮膚真菌症(トングランス感染症)について
皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
- ⑯ 台風接近等による暴風警報発令時の取り扱いについて
大阪府内のいずれかの地域に「暴風」警報が発令され、午前7時の時点で発令中の場合は、その日の試合は中止とする。
尚、試合が中止の場合、その後の対応(中止あるいは順延日時など)については大阪高体連柔道部のホームページに掲載するので、各校で必ず確認すること。
- ⑰ 法定伝染病感染者等の扱いについて
選手変更については、各大会の実施要項における参加上の注意のとおりであるが、法定伝染病その他天災による場合はこれを適用しない。
但し、当該事項が発生した場合、速やかに監督・顧問が委員長に報告すること。
- ⑱ 今年度の大会参加に関するコロナへの対応について
全日本柔道連盟新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針に従い、対応してください。
また、大会ごとに必要な書類の提出を求められることがあるので、その指示に従ってご用意ください。
- ⑲ 試合時の服装について
 - 1. 柔道衣について
大会に出場する選手は、男女とも国際柔道連盟試合審判規定に適した柔道衣を着用すること。但し、胸及び袖の校名等は例外とする。
柔道衣検査は、選手が試合場に入る前に自身の責任のもとで、会場に準備している「柔道衣測定器」で自身の柔道衣の大きさを確認しなければならない。
試合開始後に、柔道衣の大きさに関して疑義が出た場合は、その場で検査を行い、規定違反であれば「反則負け」となる。
 - 2. ゼッケンについて

大会に出場する選手は、下記の要項にしたがってゼッケンを各校（各個人）で用意をし、柔道衣の背中に縫い付けて出場すること。

- (1) 布地は晒太綾（さらしふとあや）を使用すること。
- (2) サイズは縦25cm～30cm、横30cm～35cm、襟から5cm～10cmとする。
- (3) 姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分に、横書きで男子は黒字、女子は赤字で書くこと。
- (4) 縫い付け方法については、下記の図を参照すること。



※強い糸で縫いつけること。

3. 女子のTシャツについて

女子の試合者は、上衣の下に次の何れかを着用しなければならない。

- (1) 相当な丈夫さがあり、下穿きの中に入る長さのある、白色の半袖で無地のTシャツ（柔道衣を着た状態で見えないワンポイントは可。但し、バックプリント・ハイネック・襟つきは不可。）
- (2) 白色の半袖のレオタード（襟なし） ※重ね着は禁止

4. スパッツについて

スパッツの着用については、男女とも膝上までのものに限る。

⑳ 大会参加料について

(1) 内訳

- ・全国高等学校柔道大会大阪府予選会

男子団体Ⅰ部 5,000円 男子団体Ⅱ部・女子団体 3,000円（合同チームは1校1,000円）

男子・女子個人 一人 1,000円

- ・大阪高等学校柔道選手権大会

一人 1,000円

- ・大阪高等学校女子柔道体重別選手権大会

一人 1,000円

- ・大阪高等学校総合体育大会柔道の部

男子団体Ⅰ部 5,000円 男子団体Ⅱ部 3,000円（合同チームは1校1,000円）

男子個人 一人 1,000円

- ・大阪高等学校柔道新人大会

男子団体Ⅰ部 5,000円 男子団体Ⅱ部・女子団体 3,000円（合同チームは1校1,000円）

男子・女子個人 一人 1,000円

(2) 徴収方法

- ・各大会とも試合当日（顧問受付時）に徴収

※ 怪我や計量失格等で大会棄権、不参加の場合も徴収する。

※ 大会当日の棄権等で返金はしない。

㉑ 団体試合オーダー用紙の提出について

今年度より、各大会の申込みファイルから、オーダー用紙を印刷していただき（B5判）、大会当日の受付時に提出していただくように変更します。申込みファイルの指示事項に従って、ご用意ください。

その他詳細につきましては、大阪高体連柔道専門部のHPに大会ごとに掲載しますので、御確認ください。